



# ありがとう 長信田太鼓

## 17年間の活動に幕を閉じる

3月7日、山本ふるさと文化館において長信田の森心療クリニックによるステージ公演が開催されました。この公演をもって、長信田太鼓が17年間の活動に幕を閉じることとなりました。

長信田太鼓は、同クリニックに通う若者たちの社会復帰に向けた取り組みとして、水野京子さん（木戸沢）の指導のもと、平成21年から活動を始めました。

これまで、サンドクラフトや森岳温泉夏まつりのほか、町内外の多数のイベントに出演し、圧倒的なパフォーマンスで多くの人に勇気と感動を与えてきました。



▲サンドクラフト出演（平成24年7月）

最終公演では、「覚醒」「颯」の演目のほか、元メンバーを交えた演奏や、同クリニックによる演劇が披露され、満員の観客から盛大な拍手が送られました。

メンバーの小玉宙さんは「昔は挑戦することを恐れていたが、出会いを通じて少しずつ変わることができた。やり直せることを教えること、仲間がいることを教えるもらい、立ち止まってもこれまでの経験を思い出せば、もう一度前を向ける気がする」と話し、退職する水野さんに向けて、言葉を詰まらせながら感謝の気持ちを伝えました。



▲太鼓日本一決定戦（平成26年11月・埼玉県）

## 17年間の感謝

長信田太鼓  
代表 水野 京子



今に集中し、今を生きる  
ことを教えてくれる太鼓

魂の叫び・内なるマグマを  
外に出させてくれる太鼓

命のエネルギーを誰かに  
伝えることができる太鼓

そのエネルギーがまわり  
まわって、お互いが  
勇気を与え合える太鼓

それが、長信田太鼓でした。  
17年間、地域のみなさんには、不登校・引きこもりの若者たちのがむしやらかな太鼓を応援していただき、活躍の場を与えてくれました。感謝でいっぱいです。

たくさんの若者たちが「誇り」を胸に、巣立っていきました。彼らにとって、三種町はあたたかな心の故郷です。本当にありがとうございました。